

令和4年度第1回長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会
 (長野市版子ども・子育て会議)
 会議要旨

- 開催日時 令和4年5月31日(火) 午後2時05分から午後4時14分まで
- 開催場所 長野市ふれあい福祉センター5階 ホール
- 出席委員 水口会長、宮下(弥)副会長、塚田委員、峰川委員、和田(典)委員、重野委員、野澤委員、和田(勇)委員、宮下(孝)委員、寺島委員、水野委員、市川委員、白鳥委員、中村委員、村田委員
- 欠席委員 塚原委員、田中委員
- 事務局出席者 日台こども未来部長、石坂こども総合支援センター所長、花立こども未来部次長兼こども政策課長、河西未来部次長兼子育て家庭福祉課長、丸山保育・幼稚園課長、岩山生活支援課長ほか
- 傍聴者 2人
- 報道機関 2社

発言者	内容
	1 開会
水口会長 日台部長	2 挨拶
事務局	3 議事 (1) 令和5年度 長野市の保育所等保育料(利用者負担)について 資料1に基づき説明 《質疑応答》
委員	資料1の1、幼稚園就園奨励費補助金がありました。子どもが幼稚園に就園する保護者の実費負担の一部を、長野市に補助していただいていた。令和元年10月から無償化、全国一律で横並びになった。長野市が単独で幼稚園に就園する保護者に出していた補助分は当然なくなった。細かく見ていけば長野市負担分に内包されたのですが、我々にしてみると幼稚園への補助が減ったように見えます。 少子化が叫ばれる中、子どもに対してもっと手厚くという多くのみなさんのお考えのもと進んでいこうとしている。幼稚園に対する補助率が下がってしまったような気がしてならないので、本題の保育料と離れてしまうのですが、幼稚園就園奨励費補助金はどこへ行ってしまったのかなということなのですが、もしわかれば教えていただければと思います。
事務局	幼稚園に対する補助に関しては、これまで就園奨励費とその他の補助金があり、その他の補助金は引き続き補助しているので変わりがない。新制度では、就園奨励費の補助後に保護者が実際に負担していた料金が保育料になり、無償化

発言者	内容
委員	<p>により幼稚園の保育料自体を公費で負担している。国、県、市で負担しているの で、市としては負担が増えている。</p> <p>新制度に移行していない幼稚園の無償化も、国、県、市で負担することになっ たので、幼稚園に対する公費負担分は増えている。具体的に歳入歳出で幼稚園だ けでみるとわからないが、全体的には無償化によって浮いたお金は出てきてい ない。</p> <p>もちろんその回答だと思います。ただそれは視点の違いで、無償化は全国一律 に掛ったのだからそれは当然のこと。長野市単独で出ていた分がそちらに入っ てしまったのだから、公費が増えました。</p> <p>我々からすると長野市単独で補助していた分を、引き続き何かに使ってよと いうニュアンスです。これは結論云々ではないので、我々からすると、あったも のがあちらに内包されちゃったよねということでご理解いただいて。引き続き、 幼稚園にということではなく、こども政策にもうちちょっとうまく使っていただ きたい。</p>
事務局	<p>子どもの関係で充実させていきたいという思いは同じ。国の仕組み、国の改 正、いろいろなものを見極めながら、総合的に子育て支援でできることはやって いきたいと考えている。</p>
委員	<p>今の委員の話と関連してくるが、そろそろ長野市も政策として少子化対策を しっかり形にしていくべきタイミングなのかなと思います。長野市で生まれた 子の人数は、1995年は4000人を超えていました。2020年、25年後一昨年の数値は、 2500人ぐらいになっています。割合でいうと62パーセント台。今は国でも少子化 が大変な事態になっていますが、全国平均は70パーセントです。国の平均を超え て少子化が進んでいるのが今の長野市の現状です。そうした中で、子どもたちあ るいは子育て世帯に対して、もう少し戦略的に何かできないのかなと思います。</p> <p>国の制度に従って、流れとしてはできていると思いますが、国基準でうまくい っても70パーセントというのが現状です。減少率3割です。長野市はそれ以上少 子化が進んでいるのですから、市として何か動き出さないと大変な事態です。長 野市地域福祉計画の77ページにも資料が出ていますけれども、1980年から2020年 の40年間で、15歳以下の人口が54.8パーセントも減っている。親になる可能性の ある世代の人数が減っているということ。しっかり戦略を練って、手当をしてい かなければいけないと思います。</p> <p>基本的には、保育料の関係だと国の補助分、それから保護者負担分と分かれて います。この保護者負担分のおよそ3分の1を長野市が助成してくださってい るというのが、保育料額の設定の決め方ではあるのですが、その3分の1とい うのが良いのか悪いのか。有効であるのかないのか。国の基準で決まっているから ではなく、少子化に対して成功している自治体の例がありましたら、しっかりと 研究していただいて、政策に活かしていただきたい。</p>
事務局	<p>少子化対策ですが、人口減少の進む中で、全国的にもこの問題は非常に大きな</p>

発言者	内容
委員	<p>課題だという認識がございます。</p> <p>少子化に対しては、子育てもそうですが、長野市も市内全部の所属で人口減少に対する対策として、様々な分野で連携して事業を進めております。</p> <p>一番大きな問題は、大学等の進学で長野市から若者が流出していくこと。そのうちの6割の人たちが長野へ帰ってきておらず、特に若い女性が戻ってきておりません。女性が戻らない都市ほど人口の減少が著しいので、若者が戻ってきたくなる施策を人口減少対策として、すべての施策の中で多面的に考えております。今後も、市内でいろいろな部署と連携しながら、少子化対策、人口減少対策を講じていきたいと思っております。</p> <p>出生率が落ち込んでいる前提があった上で、保育士の確保が難しくなっている現実があります。市長が昨年の選挙の時にも公約としてあったこども総合支援センターが4月に発足しましたが、国基準にこだわらず長野市独自の施策展開も、こども総合支援センターができたのをきっかけに、一歩踏み込んだ対応策を今後はやっていっていただきたい。</p>
委員	<p>このご時世、男性も女性も、出産やその後に働ける環境をつくらなければいけない。自分の会社でも、昔に比べたら遥かに出産して復帰している、産休育休を取って復帰している時代になっています。ここをしっかりとしないと立ち遅れてしまうのは間違いないので、どう耐え抜くかということだと思っております。</p> <p>企業側からすると、待機児童が増えているように感じる。昔は都会で待機児童問題がありましたが、今は地方の方が言われています。自分の会社でも、産休育休から復帰の話があった時に、保育園に入れませんでしたという報告ばかり。昔の考え方で同じにやっていたら追いつかない状態になっている。企業も産休育休からの復帰を推進する機運になっているので、それをできない企業はマイナスの評価をされる。そういう方をちゃんと受け入れる態勢を整えなければいけなくなっている。お母さんが復帰するにあたり、保育園が空いておらず戻れませんと言われると、企業側とするとがっかりします。</p> <p>卵が先か鶏が先かという話ですが、どこからきちんと整えるということをしていかなければいけないと思っています。</p>
事務局	<p>待機児童の話が出ましたので、長野市の状況をお伝えしていきます。4月1日現在で、待機児童を国でカウントする形になっておりまして、去年は7人、今年は5人の待機児童となっております。</p> <p>内容を分析しますと、待機児童は1歳児がほとんどです。児童の数が大きく減少している傾向は全国と変わらないのですが、4歳、5歳児の入園希望は横ばいなし減少気味の中、1歳児が年を追うごとにご希望が多い状況です。今、全体のご希望の中の半分以上が1、2歳児になっております。</p> <p>先ほど、委員さんのご発言にありました保育士の関係が出てくるのですが、4歳児だと30対1の割合で保育士が子供を見る基準がございます。これが1・2歳児になると、国の基準ですと6対1になりますので、どうしても保育士が必要になります。施設の規模、定員はある程度あったとしても、最終的には質の部分も</p>

発言者	内容
委員	<p>含めて保育士が不足していることが、待機児童が生じる要因です。</p> <p>今、委員がおっしゃったように、我々の職員もそうですけど、1年間育休を取れますので1年で復帰するというのがおそらく多い。</p> <p>保育・幼稚園課長が説明したように、本当に保育士が全くいません。完全に枯渇して、本当にいない状況です。流出しちゃっていないのか、根こそぎ現場復帰しているのか。</p> <p>未満児が増えてくると、6対1、0歳だと3対1。園は11時間開所しますので一人ではできません。</p> <p>ここを抜本的に改革するには、長野市単独で公定価格を上げてください。これに尽きます。処遇、時給を1500円ぐらいに大幅に上げて保育士になってもらわないと解決しないというレベル、ひとつの園の努力では不可能なところまで来ている。</p> <p>今年度の長野市内の保育士の養成校の定員120名に対して、90名しか入学していません。いないのだそうです。県外流出もですが、その能力に適合する子供がいない。人口減少ですからそういう状況。県外で学校を出て長野で保育士になってもらうのは難しいので、負のスパイラルに、一歩どころかかなり踏み込んでるので、抜本的に長野市独自の改革をしないと止められない。現場サイドは全く保育士がいない状況になっていますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
委員	<p>現場の話をしてしますと、うちの園が定員90人です。今通っていらっしゃる子どもさんが89人です。定員的には余裕があるのですが、保育士の人材確保がままならず、途中入所の受付をストップしている。一人でも二人でも保育士が増えれば、多少なりとも入所枠を作ることができます。</p> <p>うちの園では保育士が増えています。ただ年齢の小さなお子さんが増えてくると必要な保育士の数も増えますので、増やしても必要な数に追いつかない状況であります。</p> <p>養成校の話もありましたが、経済状況が厳しい中で、自宅から通えない範囲の学校に通わせられる親御さんの割合は減ってきていると思う。今ここで育てくる子たちをどうやって地域で活躍できるようにしていくのが課題だと思う。</p> <p>例えば、平成27年度に多子世帯の保育料を軽減するために、年収の制限を設けましたが、実際に長野市で多子世帯の世帯収入がどのくらいあるのか、データはお持ちなのでしょうか。子供が数多く恵まれるお宅に対して、何らかの感謝を自治体として伝えるのであれば、収入制限というやり方が良いのか。どういった戦略という部分にもかかわってくるものだと思います。データをしっかり見ながら、必要なデータを集めながら、10年先、20年先を見ていかないと、どうしようもないところなのかなと思います。</p>
委員	<p>おっしゃられた通り、小さな子どものお宅です。1歳の子どもたちの受け入れ先がない。企業側もそれに対応しなければいけないのですが、いきなり3歳児まで復帰を待つということではなく、4月になってその状況が解消されて、4月から復帰されている方が結構いるというのは把握しています。</p>

発言者	内容
会長	<p>1月生まれの子が復帰するときに受け入れられる体制ならば、こういう話にはならない。</p> <p>保育士が足りない話も重々承知しています。知っているけれどもどこかで意見を言わないと進んでいかない。どこから解決するのかという話になると思うので、いろいろなところで議論していただきたいと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。実態についてと、様々なお立場の方がご要望ということでいろいろお話しいただいたので、これを基にして進めていただければと思います。</p> <p>ありがとうございます。本件については、今後の分科会で審議していきますので、事務局は国の基準の改定等を踏まえた検討をお願いします。</p>
事務局	<p>(2) 長野市放課後子ども総合プラン事業の運営体制在り方検討について</p> <p>資料2に基づき説明</p> <p>《質疑応答》</p> <p>委員</p> <p>質問と意見があります。スライド4、検討する背景の①、地域福祉としての名残を残した事業スキームに限界があるという現状認識からというお話でございましたが、これはボランティア中心の運営という背景を指しているのでしょうか。それとも、厚労省がやっている事業と文科省がやっている事業を、長野市独自の形にまとめた、その在り方自体の問題ということなのでしょうか。</p> <p>あと、財団設立は手段であって目的ではないので、質の向上をどう図っていくのが重要だと思います。スライド15の組織体系案で、リクルート・育成部門がないのはどうなのか。どう人材を確保して、その人材をどう育成していくのか。そこにしっかりとした部門がないと、市全体で動けるような、質の向上を図っていけるような体制づくりにはならない。器は変わったけど中身は一緒という話になりかねない危惧がありますので、ご検討をお願いしたい。</p> <p>事務局</p> <p>ありがとうございます。最初にいただいたご質問と2つ目のご意見は繋がっていて、同じ答えになります。</p> <p>地域福祉としての名残を残した事業スキームというのは、端的に言うと、この事業の主体で本来一番責任を持って進めている市の意向が反映しにくい仕組みのまま動いてきているということです。</p> <p>現在、各校区に、運営委員会という地域の代表の方々の方々の組織があり、施設長や職員は、この運営委員会で採用の内申を行う仕組みになっています。これは、市社協と地区社協があった関係をそのまま踏襲してきているものですが、採用された方からすると、「市社協に雇用された」、あるいは「市の事業に携わっている」意識ではなく、「地域から頼まれた」気持ちが残る。そうするとそれぞれの地域で、独自の館運営部分がかなり出てきてしまう。</p> <p>独自性は必要ですが、市が行うべき事業として利用料をいただいているので、</p>

発言者	内容
委員	<p>必ず平準化しなければいけない部分があります。地域の独自性がプラスαであれば良いのですが、それがバラついていると、「限界がある」という判断になる。逆に申し上げると、リクルート部門、職員の採用などについて、財団が職員を雇用する体制を明確にすることで、マネージメントを利かせられる組織にしたいと思っています。</p> <p>一般財団化する中で、主たる事業は放課後子どもプランになる。どうしても職員は15時、長くて19時が主に仕事する時間です。ただし夏休みなどは対応ができないという事態になりかねない。この事業一本で、この財団はやっていけるのかという点。</p> <p>他県は、民間が学童保育をかなりやっています。人数は巨大な法人ができます。先ほど均一化の話もありました。公立の小学校が圧倒的に多い長野県もしくは長野市でありがちな均一化なのかもしれないですが、他県に行くとそうではなく学童も非常にばらつきがあって特性が出ているのですが、そういったことは当初から念頭に置かないで巨大法人一本化で行くという議論だったのでしょうか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。まずやっていけるのかですが、もともと、この事業は児童館・児童センターの箱物の指定管理。そこにプラン事業が付随している。さらに学校でやっているプラン事業も全部含めて一体で運営していて、市で財源を手当てしておりますので、同じ事業ということであればやっていけると思っています。</p> <p>2つ目のご質問がなかなか難しく、現在、学童保育のやり方は全国で千差万別です。思った以上に直営でやっているところはありませんが、どんどん減っています。民間の参入も増えています。専ら民間だけでやっているところもあります。一見、良く見えますが、利用料はバラバラです。</p> <p>私どももステップがあると思っています、子どもたちが放課後を安心・安全に過ごせる状況を公的に整備することが絶対条件だと考えています。</p> <p>将来的には、必ずしも学童保育ではないかもしれませんが、例えば街中であれば、塾があるなどより良いサービスを、放課後の過ごし方として民間から提供されても良いと思っています。そのサービスと、私どもがやっている事業はバッティングするものではなく、よりよい放課後の過ごし方の選択肢の一つとして民間があるというのは十分にある話だと考えています。</p> <p>ただ、より福祉的なニュアンスが強い市の放課後子ども総合プラン事業については、子どもたちが安心・安全で、なおかつそれなりの体験をできる環境を確保することが、プラスαの民間の選択肢との中でも大切だというのが私どもの認識です。</p>
会長	<p>ほかにご意見はございますか。ございませんようでしたら、この件についてはここで区切らせていただきます。</p>

発言者	内容
事務局	<p>(3) 長野市子どもの貧困対策計画の策定に係る生活実態調査結果について</p> <p>資料3・4に基づき説明</p> <p>《質疑応答》</p>
委員	<p>アンケートを書いてきた人達は自分のことをきちんと表現できている人達だ と思うので、アンケートを書いてこなかった人達にもっとアプローチしてい かなければいけないということを、このアンケートのもう少し見えない部分にも 貧困者がいることを想定しながら、これから対策を講じていく必要があると感 じました。</p>
委員	<p>普段の学校現場では見えにくいものですので、私どもも、なかなかここまで踏 み込んでいけないこの調査結果は非常に衝撃的です。頭に思い浮かぶご家庭、お 子さんもいますが、実際に学校サイドとして聞いたり、確認するというのはなか なか難しいです。</p> <p>実態を知って考察をすることは非常に大事だと思います。少し感想になりま すが、これだけの項目、先を読めば読むほど悲しくなってしまう。非常に辛 い思いもありまして、だからこそ今後このようなご家庭にどういった対策をし、 手を差し伸べていくのが大事ではないかと思いました。</p> <p>どこの学校も教育の機会ですので、学校現場ではこういった理由でいろいろ 影響を及ぼすものではない。ただ、朝ご飯を食べていないお子さんや、衣服がち よっと汚れているお子さんも、実際にはいます。そのことを思い起こしながら聞 かせていただきました。</p> <p>一点だけお聞きしたいのは、これは公表するのでしょうか。アンケートを取っ た以上は何らかの形で見ていただく、その点はどうなのか。私は、今初めて生々 しいものを見たので、この扱いはどうなるのかは少し気にかかります。</p>
事務局	<p>私どもとすれば、このアンケートの結果は、貧困の部分も含めて多くの人達に 知っていただきたいので、多くの人達が可視化できる方策を考えていきます。ホ ームページに載せるのはもちろんですが、あらゆる機会を使いながら、この状況 についてご説明をさせていただき、長野市民の方々の中にもこういうご家庭が あるということを知っていただくことが必要だと考えています。まずは、そんな 取組を一生懸命させていただきたいと考えています。</p>
委員	<p>貧困とヤングケアラーは非常に関係していると、この資料ですごく感しまし た。報告書で、弟や妹の世話をするのが大変という項目が挙がっていて気になり ました。虐待を受ける子ども達を多く預かるので、235ページの家族のことなど は非常に心が痛みます。施設に入ってくる子はネグレクトとか暴力の関係がす ごく多いのでこの部分。あと高校生のところ318ページ、精神疾患を患ってい る家庭の子ども達はあまり親に負担をかけたくないとか、家族の世話で忙しい から学校以外の制度を利用しようと思えないという書き方をしている子ども達</p>

発言者	内容
事務局	<p>の声が、私には正直一番響きました。</p> <p>貧困家庭についてと併せてヤングケアラーについてももう少し調べて、どういう支援が必要かを考えてもらいたいという感想です。</p> <p>先ほども話がありました朝食抜きのお子さんに関して、関係団体のヒアリングの中で、朝食に、学校でバナナを一本出そうという取組を提唱されている団体がありました。いろいろな団体とのつながりを深めながら、どのような支援が子ども達に最善の利益を届けられるかを含めて考え、具体的な部分まで貧困対策計画に盛り込められたらいいと思っています。</p> <p>ヤングケアラーについては、今回の調査の中でいろいろ見えてきた部分があり、県が高校生を対象に実施したアンケートでもヤングケアラーが一定程度いる実態が見えてきています。アウトリーチで出向いて行って子ども達を救ったらいいいという声も聞いていますが、なかなか見えづらい部分があると思います。今年度、庁内にプロジェクトチームを設置し、何らかの形でそういった子ども達への支援を考えていきます。</p> <p>また、中には「大好きなお父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃん達の為だから自分は頑張っている」といった自負からSOSを出せない子もいるので、子ども達のSOS発信のハードルをなるべく低くして何か支援できる、そのようなことを十分研究、検討して考えていきたいと思っています。</p>
会長	<p>ヤングケアラーの話で、成人で家庭に介護が必要な人がいると、ケアマネージメントがあると思いますが、ヤングケアラーで年齢の低い人が家事の補佐や介護をする場合に、プランを立てたり支援するという、明確な政策などは十分なのでしょうか。</p>
事務局	<p>現時点では、明確な政策・施策というものは具体的にはない状況です。今のところ私どもで関わっているものでは、児童虐待の関係で協議会があります。学校の先生との面談を併せた状況確認の中で、実は学校に遅れてくるとか、授業中に居眠りしているといった状況を伺って、ヤングケアラー早期発見のためのアセスメントシートを使ってヤングケアラーではなかろうかということを判断して、何となく理解、把握していますが、ではその子にどのように支援していくのかというところまではまだ至っておりません。</p> <p>その子の気持ちや自尊心を傷つけず、家庭のプライバシーを守った上で支援できる、そのような仕組を構築できるよう、今年度研究していきたいという状況です。</p>
事務局	<p>(4) こども総合支援センターについて</p> <p>資料5に基づき説明</p> <p>《質疑応答》</p>

発言者	内容
委員	<p>相談に来たご両親のことを、例えば不登校なら校長先生に繋げるなどの対応はしているのでしょうか。相談のルートを先生方も皆さん承知しているのか伺いたいです。</p>
事務局	<p>はい、ありがとうございます。きめ細やかな対応と申しあげました通り、相談に来た方には、相談内容を関係機関と共有していいか確認した上で相談に当たっています。</p> <p>匿名の相談や、ほかの人には聞かれたくない相談もあることは確かですので、ひとつひとつ確認しています。</p>
委員	<p>土日祝日の連絡先ですが、代表番号から転送することはできないのでしょうか。たくさん並んでいた相談電話の番号を2つまでに整理したのですから、有効に活用できる方策をお考えいただきたい。</p> <p>もうひとつ。小学生にチラシを配ってもあまり効果がない気がします。一年生に配る黄色い帽子に電話番号を記載するとか、ランドセルカバーにバーコードを表記する方がわかりやすいと思います。そういった意味でも、相談窓口の電話番号は一つが良いと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。電話番号については少し研究します。子どもたちへの周知は、チラシ1枚では足りないと思っていますので、改めて考えたいと思います。</p>
会長	<p>ほかに何かございますか。これから本格的に稼働していく中で課題も出てくるかと思いますが、ご意見をいただきながら運営していただきたいと思います。</p>
	4 その他
	5 閉会